第6回　在宅の多職種チーム医療とケアを考える会（Hot-meeting）

地域で、“がんと生きる”人と家族をささえる ～がんと告知されてから歩む人生の挑戦～

2018. 3 . 3 sat

13：30～17：40　受付13：00～

会　　場	新宿パークタワー23階　エーザイ会議室
定　　員	100名（在宅緩和ケアに興味がある方、関わる全てのスタッフ）
参 加 費	3500円（事前振込：お振込後に参加確定とさせていただきます）
申し込み	2018年1月10日開始 (定員になり次第受付終了)

基調講演　「‘がんと生きる’本人と家族の社会参加を支える」

高橋 都　氏

(国立がん研究センター　がん対策情報センター　がんサバイバーシップ支援部長)

講演　「がんになっても、生きがいのある社会を実現するために」

川上 祥子　氏　(NPO法人キャンサーネットジャパン理事)

シンポジウム　「地域で、‘’がんと生きる‘’人と家族をささえる」

① 家族の立場から

轟 浩美　氏　(スキルス胃がん患者家族会認定NPO法人　希望の会　理事長)

② 介護支援専門員の立場から

森岡 真也　氏　(株式会社モテギ 新宿ケアセンター長 モテギケアプランニング新宿 管理者)

特別報告

「AMED　革新的がん医療実用研究事業　科学的根拠に基づくがんの支持療法の開発に関する研究」
～入院から外来へ　いかにがんリハを拡げていけるか～

辻 哲也　氏　（慶應義塾大学医学部　リハビリテーション医学教室　准教授）

＊研修会終了後、名刺交換会（17：40～18：10）を行います。無料（事前参加申し込み不要）

近年、希望するがん治療・療養を継続しつつ働き続けること、最期まで住み慣れた自宅で生きることに目が向くようになってきました。それには、支える家族の社会参加や就労と介護の両立の支援が必要であり、今後益々地域での取り組みが必要となると考えられます。今回の研修では、がん体験全般の話に加え、特に進行期～終末期の患者と、支える家族の社会参加や就労について（社会資源とのつながり方や、優先順位の考え方など）、更に、情報の探し方や患者会、ピアサポート等の活動について知るなど、地域での支援について考えていきたいと思います。

地域で、“がんと生きる”人と家族をささえる

～がんと告知されてから歩む人生の挑戦～

● 講師プロフィール

高橋 都 （たかはし みやこ）氏

国立がん研究センター　がん対策情報センター　がんサバイバーシップ支援部長

昭和59年岩手医大医学部卒業。10年間、一般内科臨床に従事したのち、東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻修了、保健学博士を取得。
東京大学大学院医学系研究科講師、UCLA公衆衛生大学院客員研究員、獨協医科大学公衆衛生学准教授を経て、平成25年４月より現職。一貫して、がん患者・家族のサバイバーシップ全般に関連する研究や教育啓発活動に組んでいる。

川上 祥子（かわかみ さちこ）氏

NPO法人キャンサーネットジャパン理事

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科看護学専攻入学、卒業。看護学生時代にがん体験者の講演を聴き、社会でがんと向き合う人々への支援の必要性を実感して以来、NPO法人キャンサーネットジャパン（CNJ）に関わる。臨床は大学病院放射線科病棟、クリニック化学療法外来担当看護師を経験。2007年1月CNJ専任理事となり、2015年4月～2017年3月まで事務局長を務める。

● お申し込み方法

2018年1月10日開始 (定員になり次第受付終了)

1.氏名 2.ご職業 3.職場 4.ご連絡先 5.メールアドレスをご記入の上、下記アドレスかQRコードにてお申し込み下さい（@yahoo.co.jpからのメールを受信できるようにしておいて下さい。

件名が空欄、携帯電話からの申し込みは受付できない場合があります。お申し込み後10日経ってもメールの返信がない場合、別のメールアドレスから、再度下記メールにお問い合わせをお願い致します。

お申込み・お問い合わせ先

ﾒｰﾙ　hotmeeting_kanwa@yahoo.co.jp

QR　https://ssl.form-mailer.jp/fms/2fdf4b97445491

● 交通アクセス　新宿パークタワー（東京都新宿区西新宿3-7-1）

＜電車＞

JR線	「新宿」駅南口徒歩 約12分
都営新宿線・京王新線	「新宿」駅徒歩 約10分
京王新線	「初台」駅徒歩 約6分
都営大江戸線	「都庁前」駅 A4出口徒歩 約8分
小田急線	「参宮橋」駅徒歩 約10分

＜シャトルバス＞

新宿西口「エルタワー」1階三菱東京UFJ銀行前
10:10～19:20　約10分間隔

※JR新宿駅南口、都営新宿線・京王新線新宿駅から都庁方面へ地下道「ワンデーストリート」を通り、ワシントンホテル出口から地上に出られると便利です

【主催】　在宅の多職種チーム医療とケアを考える会　実行委員会
【共催】　東京都区西部地域リハビリ支援事業（慶應義塾大学病院リハビリテーション科）
【後援】　多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン（慶應義塾大学大学院医学研究科）
AMED 革新的がん医療実用研究事業　科学的根拠に基づくがんの支持療法の開発に関する研究　外来がんリハビリテーションプログラムの開発に関する研究（研究代表者 慶應義塾大学 辻哲也）
【監修】　辻 哲也 氏（慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室 准教授）

HP　http://hotmeeting.kenkyuukai.jp/